

シンポジウム「知の統合」に向けて —社会的役割と具体的事例—

日 時 : 2010 年 5 月 21 日 (金) 13:00-17:00

会 場 : 日本学術会議 講堂
(東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口)

主 催 : 日本学術会議 総合工学委員会「工学基盤における知の統合分科会」、
横幹技術協議会、横幹連合

参 加 費 : 無料

参加申込 : 【事前登録】 オンライン申込 http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum_26_1.cgi?step=1
又は、下記の参加申込書にご記入のうえ、fax、電子メールにてお申し込みください。
(氏名、所属、連絡先 Email、TEL 等をご明記ください。)

【当日申込】 当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】

日本学術会議総合工学委員会「工学基盤における知の統合分科会」のシンポジウムを横幹技術フォーラムとして開催する。

日本学術会議総合工学委員会「工学基盤における知の統合分科会」は、前期の同名の分科会の活動成果としてまとめられた記録「知の統合の具体的方策 — 工学基盤からの視点 —」を受けて、工学基盤という範囲に限定されがちであった議論を発展させ、より幅広い視点から「知の統合の推進」を実現する科学技術政策に関する審議を行い、政策提言としてまとめることを目的として活動を続けている。

本シンポジウムは、「知の統合」を推進していくことの重要性と緊急性を社会的課題の解決に向けた科学技術の発展の視点で議論し、具体的アプローチの紹介を通してアピールすることを目的としている。「知の統合」の社会に果たす役割 (第 1 部) と「知の統合」に向けての具体的な取り組み (第 2 部) の 2 部構成である。第 1 部では、文系を含む様々な視点から「知の統合」についての考えを紹介いただく。第 2 部では、知の統合による社会的課題へのアプローチを具体的事例を通して議論するとともに、本分科会の活動報告として 2 つの小委員会の審議の総括と今後の展望を紹介する。

【プログラム】

(敬称略)

13:00-13:10	開会にあたって	金澤 一郎 (日本学術会議会長)
13:10-14:50	◆ 第 1 部 「知の統合」の社会に果たす役割 総論1 「知の統合」と横幹科学技術 総論2 「知の統合」のためになすべきこと 総論3 社会のための科学としての「知の統合」 総論4 「知の統合」による科学・技術の促進	座長: 舘 暉 木村 英紀 (工学基盤における知の統合分科会委員) 笠木 伸英 (工学基盤における知の統合分科会委員) 立本 成文 (総合地球環境学研究所長) 架谷 昌信 (工学基盤における知の統合分科会委員)
	(14:50-15:05 休憩)	
15:05-16:55	◆ 第 2 部 「知の統合」に向けての具体的な取り組み バイオ研究から見た「知の統合」 持続可能社会な社会づくりに向けた「知の統合」 「知の統合体系化」に向けて 「知の統合推進」に向けて	座長: 萩原 一郎 西島 和三 (特田製薬㈱ 医薬開発本部・専任主事/ 東京大学 農学生命科学研究科・特任教授) 鈴木 克徳 (金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授) 川村 貞夫 (工学基盤における知の統合分科会委員) 原 辰次 (工学基盤における知の統合分科会委員) 矢川 元基 (総合工学委員会委員長)
16:55-17:00	閉会にあたって	

<第26回横幹技術フォーラム 申込書>

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内

日本学術会議 講堂

住所：東京都港区六本木 7-22-34

最寄駅：東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

